

三芳町住民意識調査

概要版

調査の概要

(1) 調査実施の目的

「三芳町住民意識調査」は、まちづくりの基本的な指針である「三芳町第4次総合振興計画」の進捗把握と後期5年間の計画見直しのための基礎資料として、施策への住民満足度や地域課題の現況を把握するために実施しました。

(2) 調査地域 三芳町全域

(3) 調査対象 三芳町に居住する20歳以上の男女

(4) 標本数 2,000人

(5) 抽出方法 住民基本台帳から無作為に抽出

(6) 調査方法 郵送法（郵送配布－郵送回収）

(7) 調査時期 平成22年4月1日（木）～4月20日（火）

(8) 回収結果

項目	内容
配布票数	2,000票
有効回収数	930票
有効回収率	46.5%

《 調査結果を見る上での注意事項 》

- ・表、グラフ中の「n」は、各設問に対する回答者数を示しています。
- ・百分率（%）の計算は、「n」を分母とし、小数第2位を四捨五入して表示しています。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフ中は、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。

調査結果の概要

1 まちの住みやすさ

三芳町の住みやすさについては、《住みやすい》が8割以上と多くなっています。住みやすいと感じる理由は、「生活が便利」が5割を超えています。以前と比べて住みやすくなったと感じる点は、道路が整備されたことや、買物の便がよくなったという回答が多く、生活環境の改善がうかがえる結果となりました。その反面、道路が整備されたことによる交通量の増加による渋滞や事故発生、緑（自然）の減少によって住みにくくなったと感じるという意見も多く見られます。

また、三芳町への定住意向については、「住み続けたい」が8割を超えています。

2 町の現状についての満足度

教育・文化、コミュニティほかの分野ではいずれの項目も満足度が高くなっています。また、環境についても全体的に満足度の高い項目が多くなっていますが、産業経済では満足度が低くなっています。都市整備の満足度は高低差が大きく、上・下水道は高い満足度を得ていますが、公共交通網では低くなっています。安全対策も同様に消防・防火の満足度は高いものの、放置自転車に対しては評価が低くなっています。

3 地域内の様子について

より良い地域をつくっていく雰囲気や土壌は、《あると思う》は全体で4割となっています。いずれの地区でも《あると思う》は多く、上富地区と北永井地区はその中でも比較的多くなっています。

また、地域活動や交流への《関心がある》と回答した人も4割となっており、いずれの地域でも《関心がない》よりも多くなっています。

4 町政運営について

今後力を入れるべき分野は、都市整備分野で「バスなど交通網の整備」、「生活道路の整備」が4割台、安全分野で「防犯対策」が5割台と多くあげられています。上位にあげられる項目は概ね地区に共通していますが、その力点には地区による違いも生じています。

5 町の将来イメージ

現在の町のイメージは、「緑豊かな」と「自然環境がよい」が多くあげられています。これからのイメージでも「緑豊かな」と「自然環境がよい」が多く、将来も現在も変わらず自然環境についてのイメージが期待されていることがわかります。

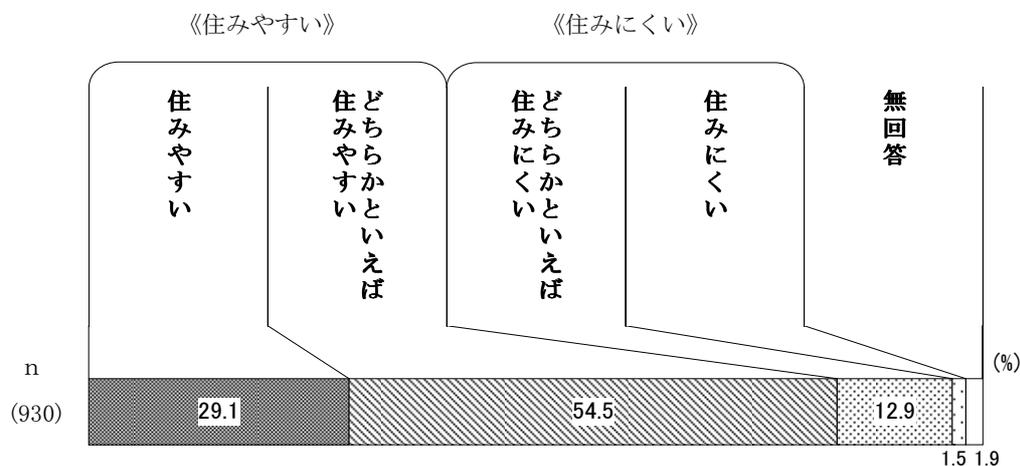
第4次総合振興計画の重点施策の進捗状況では、「ぬくもりプロジェクト」の評価が最も高く、「いきいきプロジェクト」で最も低くなっていますが、地区や年代により各プロジェクトの評価は異なっています。

今後の土地利用のあり方については、『農地や緑を保全する地区』と『開発を促進する地区』を分け、土地利用を誘導すべきである。人口は緩やかな増加がよい」が半数近くで最も多くなっています。

まちの住みやすさ

あなたは、現在の三芳町の住みやすさについてどのように感じていますか。

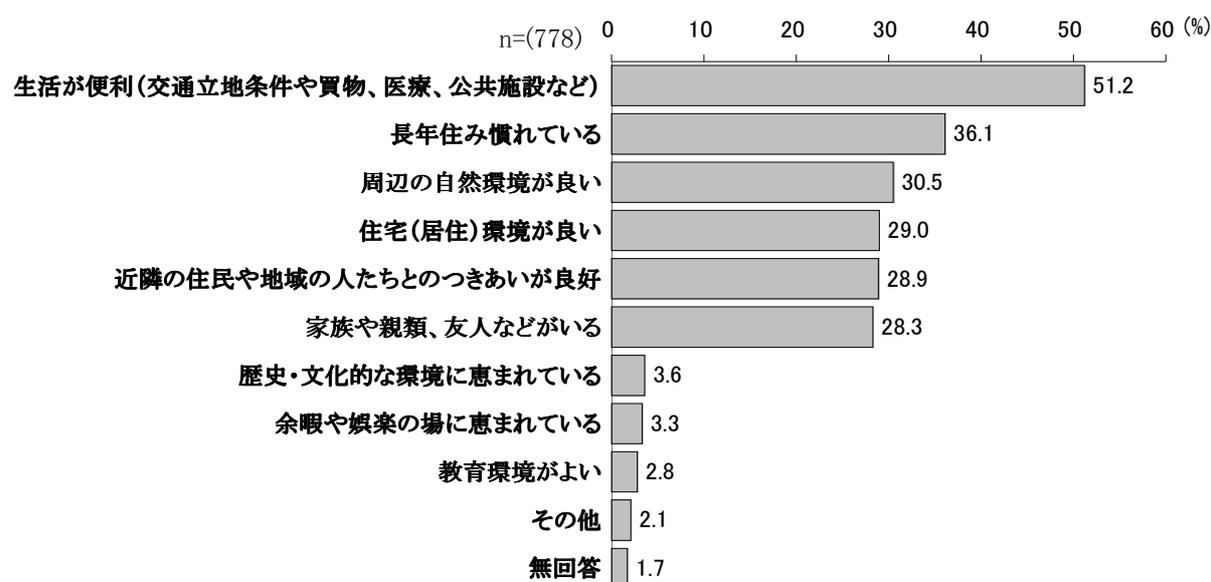
→◇ 《住みやすい》が83.6%



三芳町の住みやすさは、「住みやすい」(29.1%)と「どちらかといえば住みやすい」(54.5%)をあわせた《住みやすい》が83.6%となっています。また、《住みにくい》(「住みにくい」+「どちらかといえば住みにくい」)は14.4%となっています。

三芳町が《住みやすい》と感じるのはどのような点でしょうか。(複数回答可)

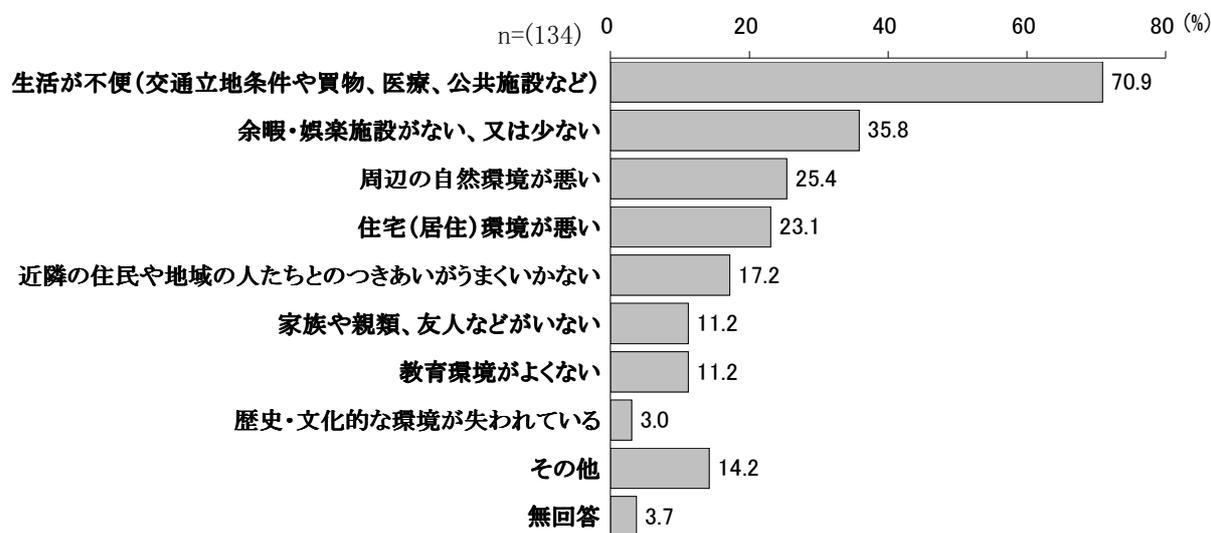
→◇ 「生活が便利(交通立地条件や買物、医療、公共施設など)」が51.2%



《住みやすい》と回答した人の理由は、「生活が便利(交通立地条件や買物、医療、公共施設など)」が51.2%で最も多く、以下、「長年住み慣れている」が36.1%、「周辺の自然環境が良い」(30.5%)、「住宅(居住)環境が良い」(29.0%)、「近隣の住民や地域の人たちとのつきあいが良好」(28.9%)、「家族や親類、友人などがいる」(28.3%)が3割前後で続いています。

三芳町が「住みにくい」と感じるのはどのような点でしょうか。(複数回答可)

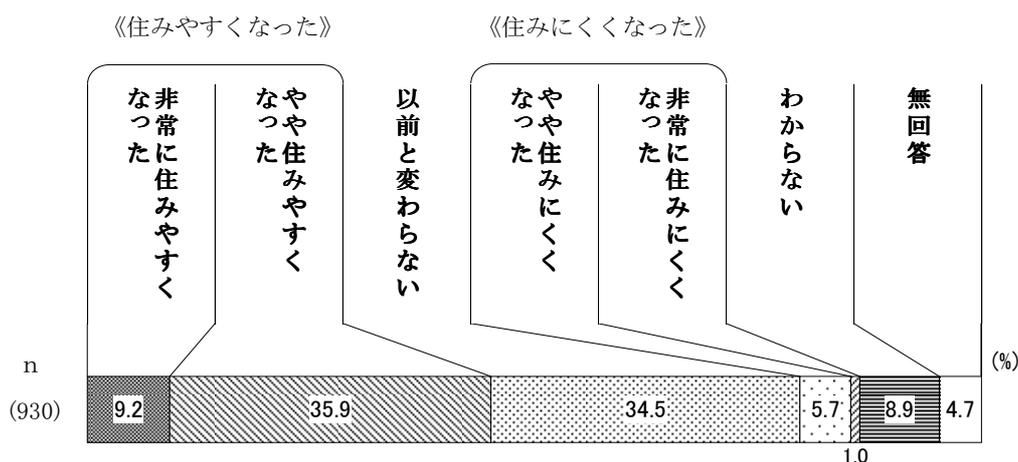
→◇「生活が不便(交通立地条件や買物、医療、公共施設など)」が70.9%



《住みにくい》と回答した人の理由は、「生活が不便(交通立地条件や買物、医療、公共施設など)」が70.9%で最も多くあげられています。以下、「余暇・娯楽施設がない、又は少ない」(35.8%)、「周辺の自然環境が悪い」(25.4%)、「住宅(居住)環境が悪い」(23.1%)などが続いています。

以前と比べて、あなたにとって三芳町は住みやすくなりましたか。

→◇《住みやすくなった》が45.1%



以前と比べて三芳町は「非常に住みやすくなった」が9.2%、「やや住みやすくなった」が35.9%で、これをあわせた《住みやすくなった》は45.1%となっています。《住みにくくなった》(「非常に住みにくくなった」+「やや住みにくくなった」)は6.7%と少数です。

町の現状についての満足度

あなたの住んでいる地域や三芳町の現況についてお聞きします。あなたは、日常生活を送るうえで、次の項目についてどの程度満足していますか。

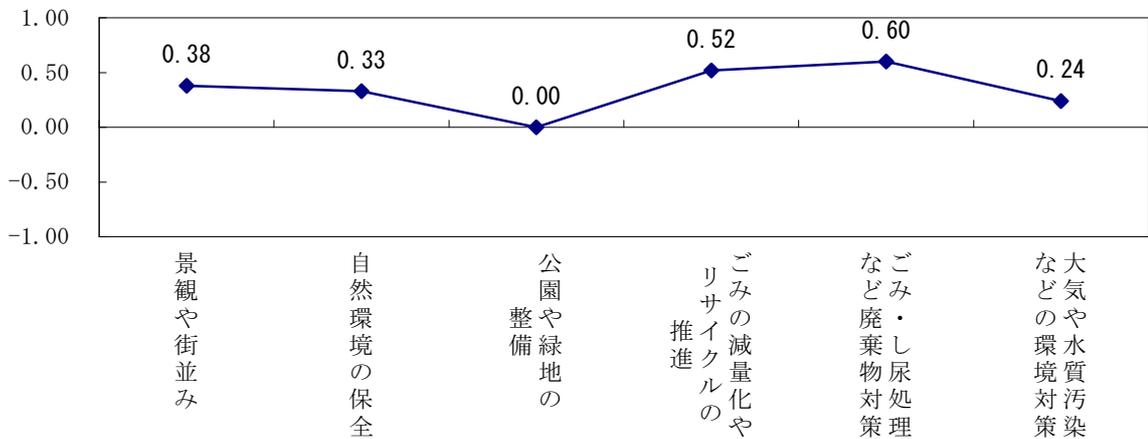
各項目間を比較するために、右記の計算式のように、5段階の評価に点数を与え、各項目の平均評価点を算出しました。

※評価点は+2.00点から▲2.00点の間に分布し、0.00点が中間値です。+2.00点に近いほど評価は高く、逆に▲2.00点に近いほど評価は低いこととなります。

平均評価点算出方法

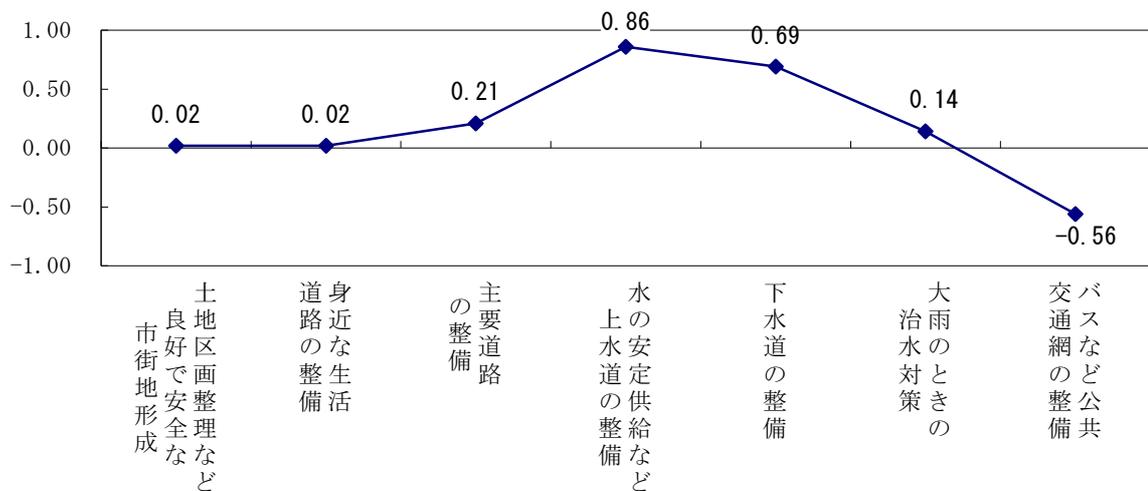
$$\text{評価点} = \frac{\begin{aligned} & \text{「満足」の回答数} \times 2\text{点} \\ & \text{「どちらかといえば満足」} \times 1\text{点} \\ & \text{「どちらともいえない」の回答数} \times 0\text{点} \\ & \text{「やや不満」の回答数} \times \blacktriangle 1\text{点} \\ & \text{「不満」の回答数} \times \blacktriangle 2\text{点} \end{aligned}}{\text{回答者数（無回答を除く）}}$$

環境／平均評価点



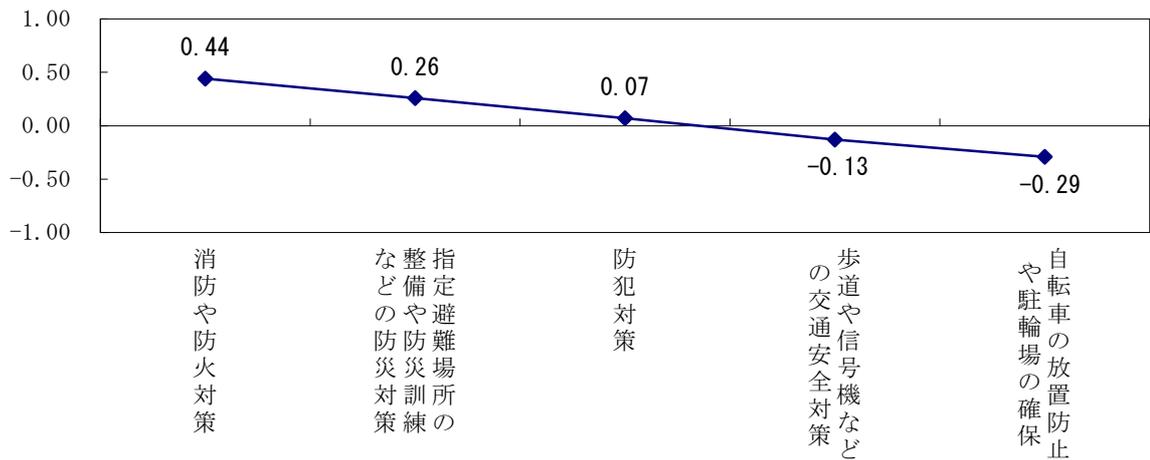
環境の平均評価点をみると、“公園や緑地の整備”が0.00点であるほかは、いずれの項目もプラス評価となっています。“ごみ・し尿処理など廃棄物対策”が0.60点で最も高くなっています。

都市整備／平均評価点



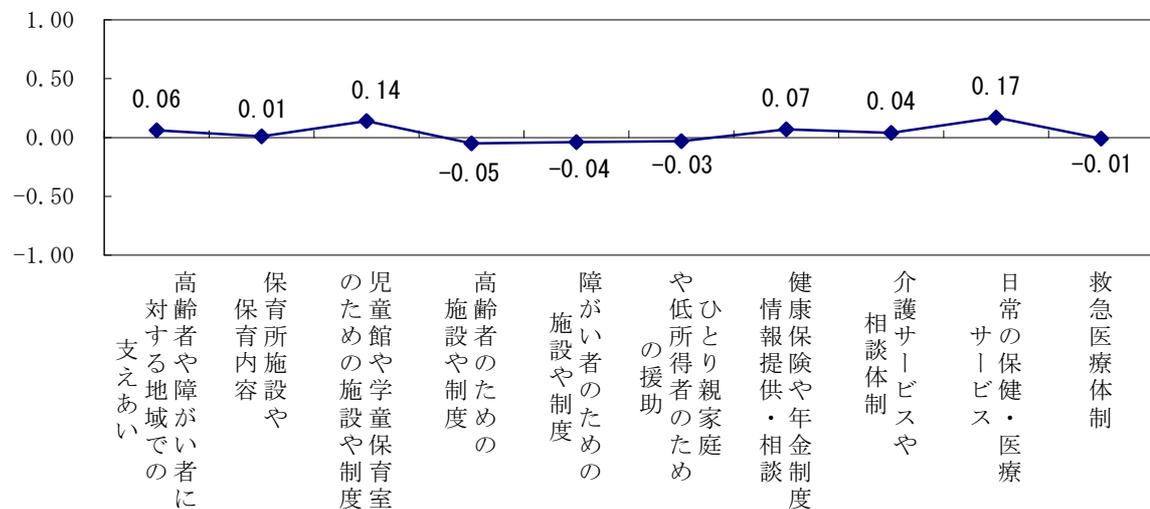
都市整備の平均評価点をみると、“水の安定供給など上水道の整備”が0.86点で最も高く、“下水道の整備”も0.69点となっています。一方、“バスなど公共交通網の整備”はマイナス0.56点と低くなっています。

安全対策／平均評価点



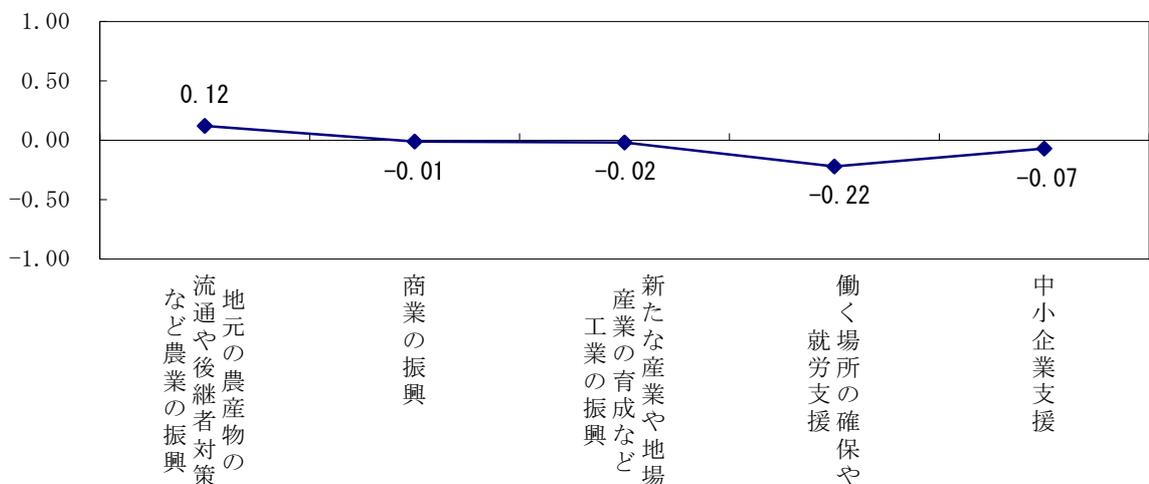
安全対策の平均評価点をみると、“消防や防火対策”が0.44点で最も高くなっています。一方、“自転車の放置防止や駐輪場の確保”はマイナス0.29点と低くなっています。

福祉／平均評価点



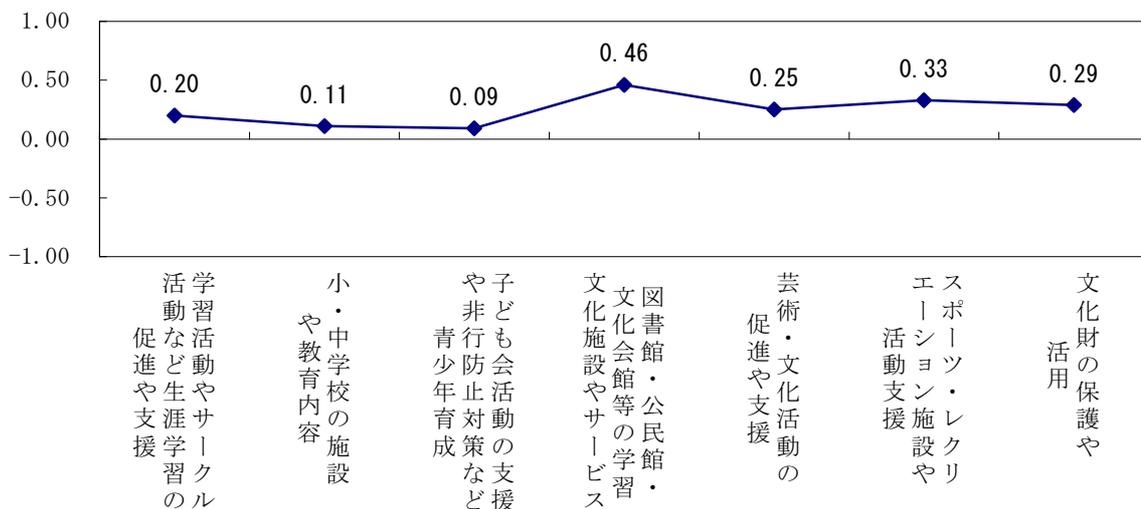
福祉の平均評価点をみると、“日常の保健・医療サービス”が0.17点で最も高くなっていますが、いずれも中間点に近く、明確な評価となっていません。

産業経済／平均評価点



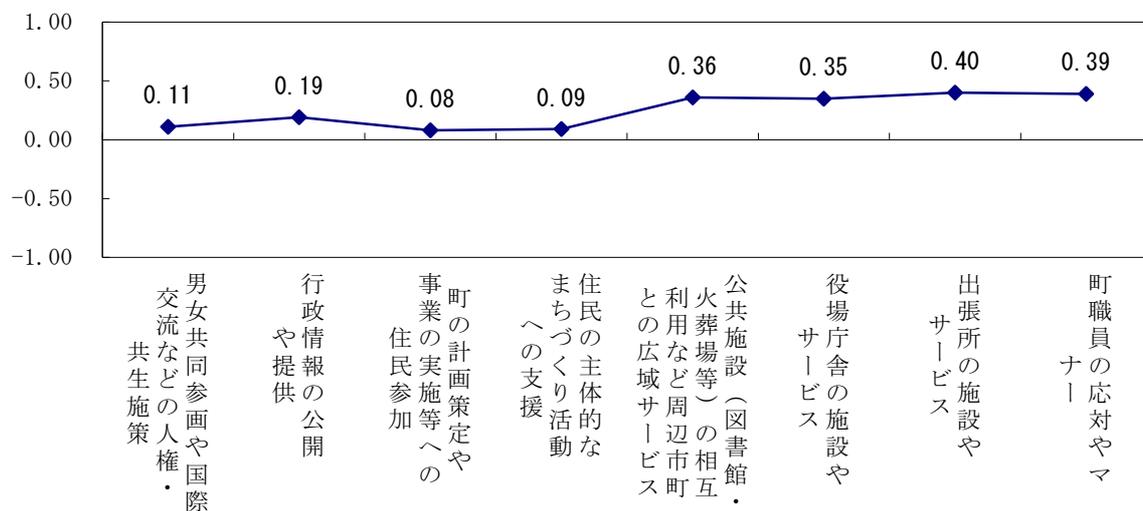
産業経済の平均評価点をみると、“地元の農産物の流通や後継者対策など農業の振興”が0.12点で最も高くなっています。5項目中4項目はほぼ中間点に位置しますが、“働く場所の確保や就労支援”は、マイナス0.22点と評価が低くなっています。

教育・文化／平均評価点



教育・文化の平均評価点をみると、“図書館・公民館・文化会館等の学習文化施設やサービス”が0.46点で最も高く、いずれの項目もプラス評価となっています。

コミュニティほか／平均評価点

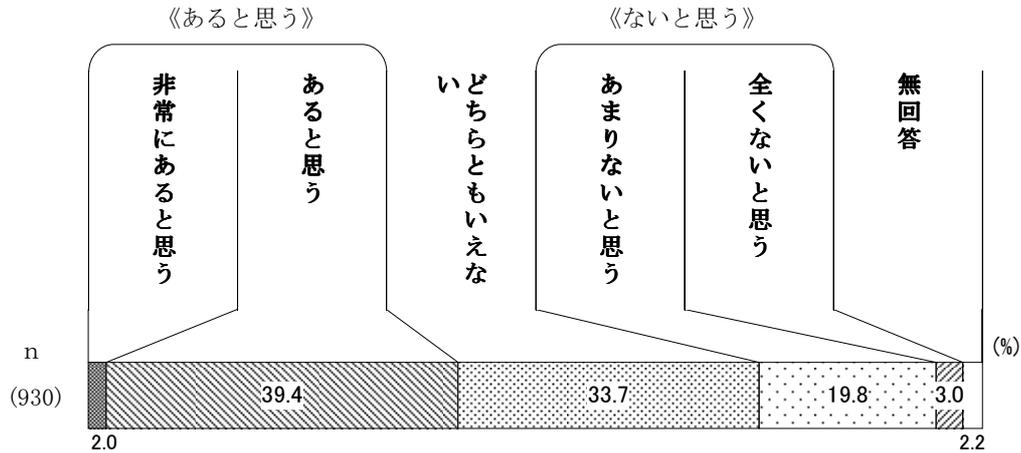


コミュニティほかの平均評価点をみると、いずれの項目もプラス評価となっており、“出張所の施設やサービス”が最も高く0.40点、“町職員の対応やマナー”も0.39点となっています。

地域内の様子について

あなたのお住まいの地域では、みんなで協力し合ってよりよい地域をつくっていくような雰囲気や土壌はありますか。

→よりよい地域をつくっていく雰囲気や土壌が《あると思う》が41.4%

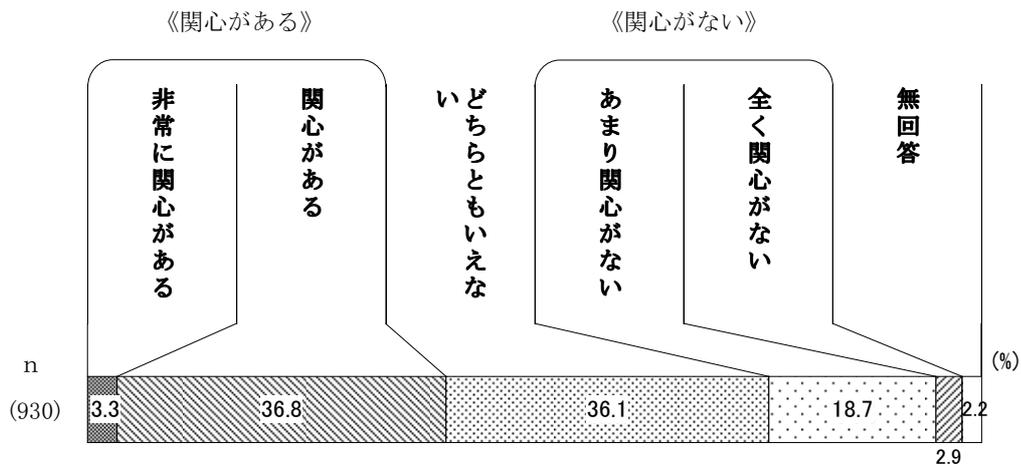


居住する地域で、住民が協力しあいながら、よりよい地域をつくっていく雰囲気や土壌が「非常にあると思う」は2.0%、「あると思う」は39.4%で、これをあわせた《あると思う》は41.4%となっています。

《ないと思う》（「全くないと思う」 + 「あまりないと思う」）は22.8%となっています。

あなたは、地域活動や交流に関心がありますか。

→《関心がある》が40.1%



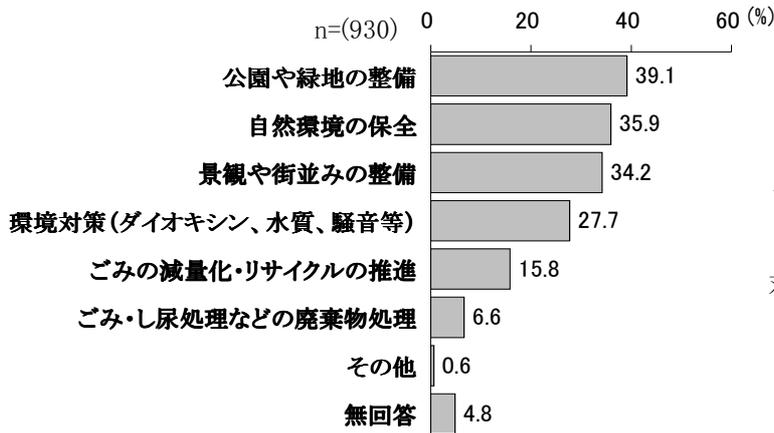
地域活動や交流に「非常に関心がある」は3.3%、「関心がある」は36.8%で、これをあわせた《関心がある》は40.1%となっています。

《関心がない》（「全く関心がない」 + 「あまり関心がない」）は21.6%となっています。

町政運営について

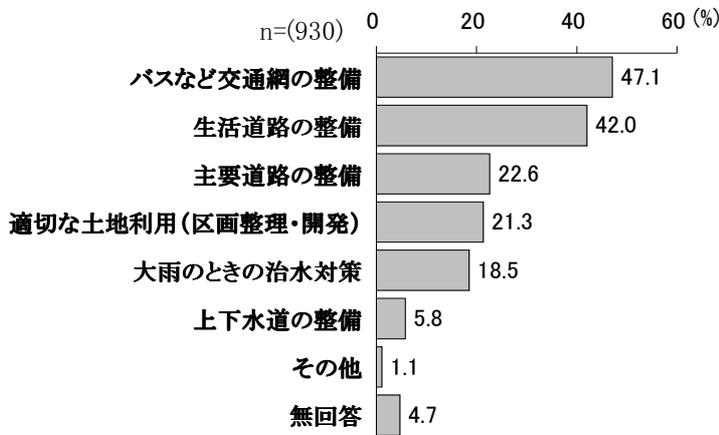
三芳町を一層住みやすい町にするためには、今後どのような施策に力を入れるべきだと思いますか。（複数回答可）

「環境」 →◇ 「公園や緑地の整備」が39.1%



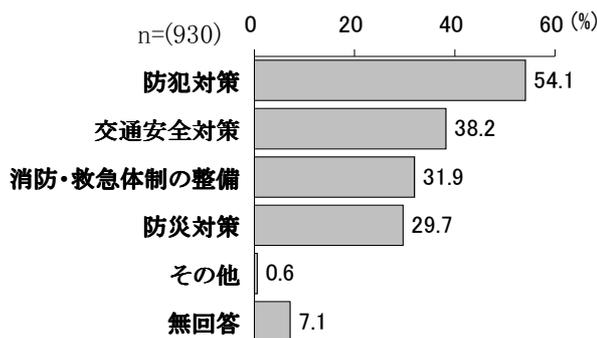
今後力を入れるべき環境分野の施策は、「公園や緑地の整備」が39.1%で最も多く、以下、「自然環境の保全」(35.9%)、「景観や街並みの整備」(34.2%)、「環境対策(ダイオキシン、水質、騒音等)」(27.7%)と続いています。

「都市整備」 →◇ 「バスなど交通網の整備」、「生活道路の整備」が4割台



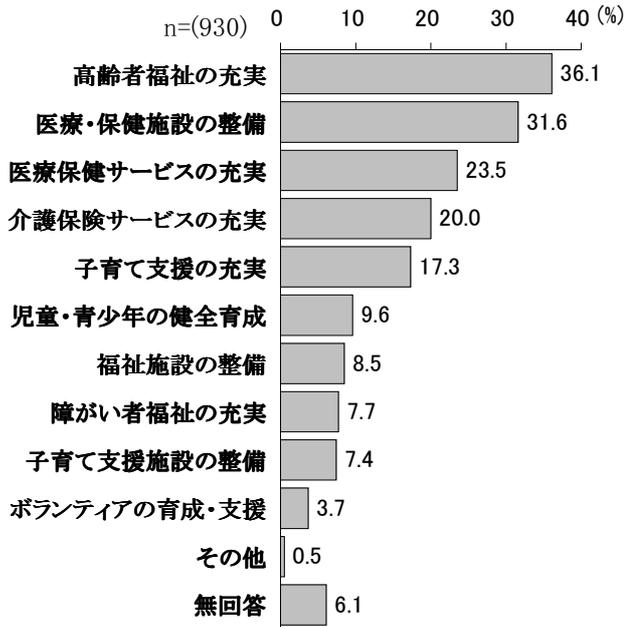
今後力を入れるべき都市整備分野の施策は、「バスなど交通網の整備」(47.1%)、「生活道路の整備」(42.0%)の2項目が4割台で多くなっており、以下、「主要道路の整備」(22.6%)、「適切な土地利用(区画整理・開発)」(21.3%)、「大雨のときの治水対策」(18.5%)と続いています。

「安全」 →◇ 「防犯対策」が54.1%



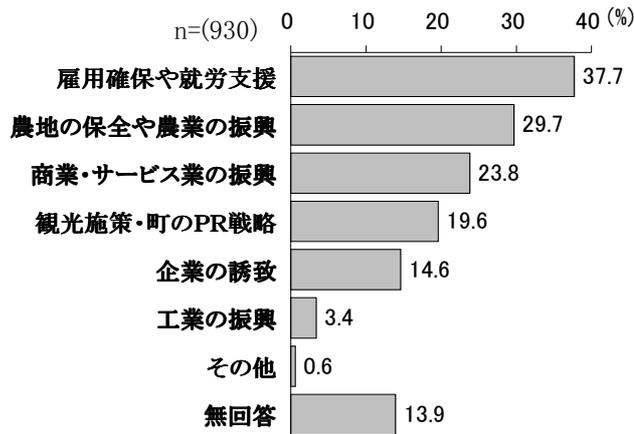
今後力を入れるべき安全分野の施策は、「防犯対策」が54.1%で最も多く、以下、「交通安全対策」(38.2%)が4割弱、「消防・救急体制の整備」(31.9%)と「防災対策」(29.7%)が3割前後で続いています。

「福祉」 →◇ 「高齢者福祉の充実」が36.1%



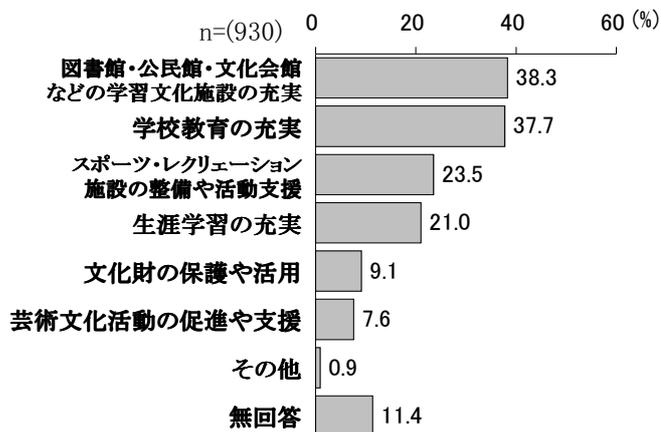
今後力を入れるべき福祉分野の施策は、「高齢者福祉の充実」が36.1%で最も多く、以下、「医療・保健施設の整備」(31.6%)、「医療保健サービスの充実」(23.5%)、「介護保険サービスの充実」(20.0%)、「子育て支援の充実」(17.3%)と続いています。

「産業経済」 →◇ 「雇用確保や就労支援」が37.7%



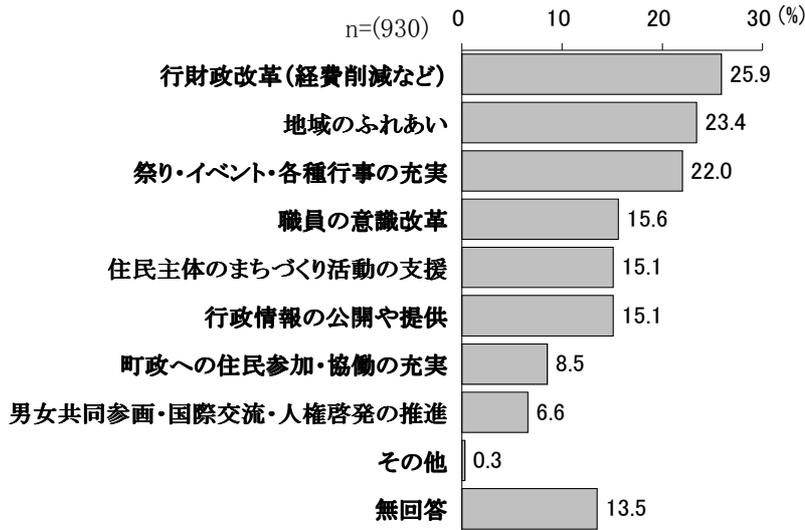
今後力を入れるべき産業経済分野の施策は、「雇用確保や就労支援」が37.7%で最も多く、以下、「農地の保全や農業の振興」(29.7%)、「商業・サービス業の振興」(23.8%)と続いています。

「教育・文化」 →◇ 「図書館・公民館・文化会館などの学習文化施設の充実」、「学校教育の充実」が3割台



今後力を入れるべき教育・文化分野の施策は、「図書館・公民館・文化会館などの学習文化施設の充実」(38.3%)、「学校教育の充実」(37.7%)の2項目が3割台で多く、以下、「スポーツ・レクリエーション施設の整備や活動支援」(23.5%)、「生涯学習の充実」(21.0%)が2割台で続いています。

「コミュニティ行財政」→◇「行財政改革（経費削減など）」が25.9%



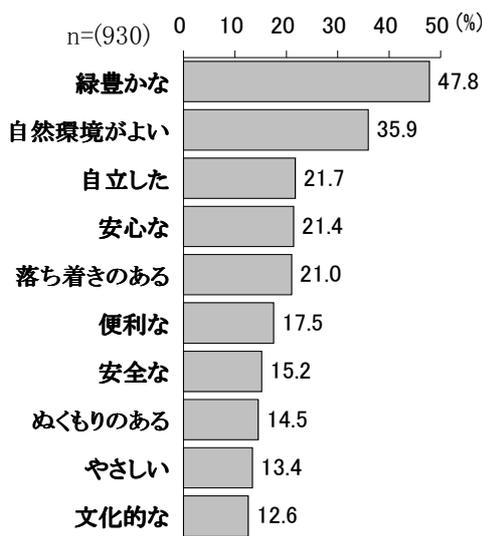
今後力を入れるべきコミュニティ行財政分野の施策は、「行財政改革（経費削減など）」（25.9%）、「地域のふれあい」（23.4%）、「祭り・イベント・各種行事の充実」（22.0%）の3項目が2割台で多くなっています。以下、「職員の意識改革」（15.6%）、「住民主体のまちづくり活動の支援」、「行政情報の公開や提供」（それぞれ15.1%）が1割台で続いています。

町の将来イメージ

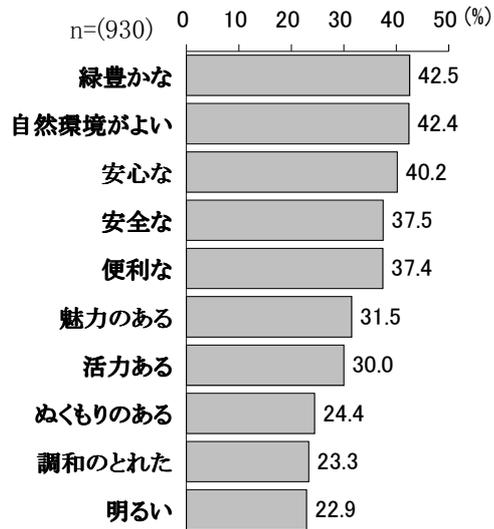
あなたが考える三芳町のイメージとして、「現在のイメージ」と、将来期待する「これからのイメージ」について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。（複数回答可）

→◇現在も、これからも「緑豊かな」が1位、「自然環境がよい」が2位

【現在の三芳町のイメージ（上位10項目）】



【これからの三芳町のイメージ（上位10項目）】

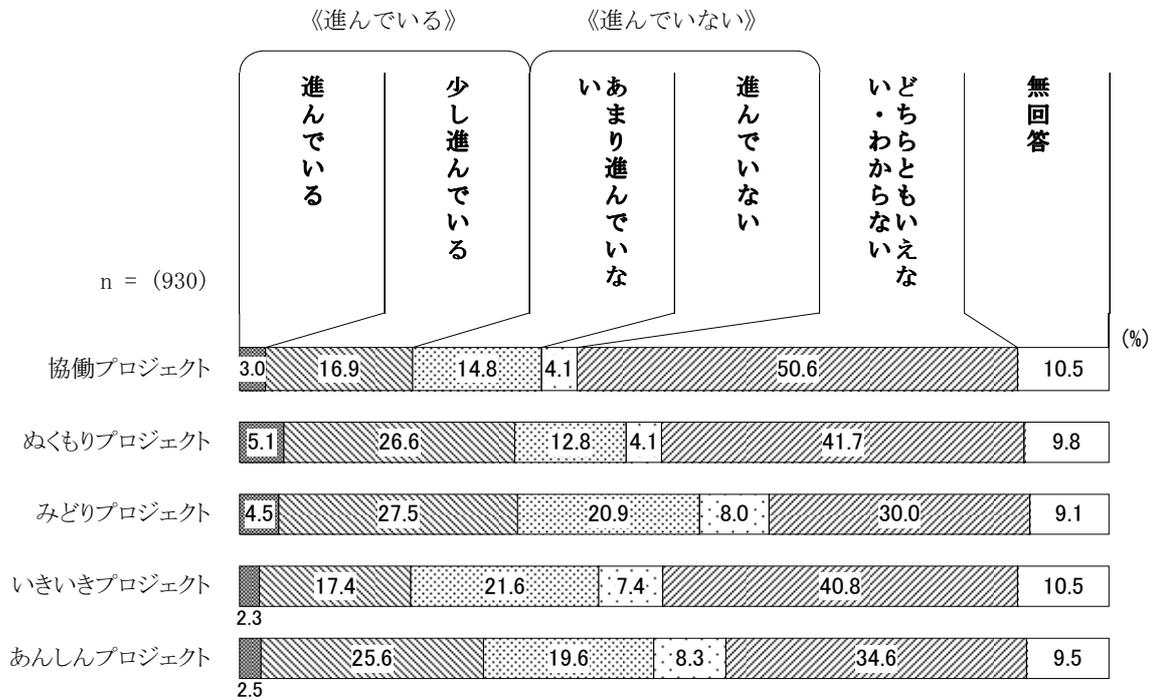


現在の三芳町のイメージは、「緑豊かな」が47.8%で最も多く、「自然環境がよい」が35.9%で続いています。

これからのイメージは、1位、2位は現在のイメージと同様に「緑豊かな」（42.5%）と「自然環境がよい」（42.4%）がほぼ同率で多くなっており、現在もこれからもこのイメージであってほしいという願いがあらわれています。

第4次総合振興計画の重点施策について、どの程度進んでいると感じますか。それぞれあなたの考えに最も近いものひとつに○をつけてください。

→○ “みどりプロジェクト”、“ぬくもりプロジェクト”で《進んでいる》が3割台
 “いきいきプロジェクト”、“みどりプロジェクト”で《進んでいない》が3割弱

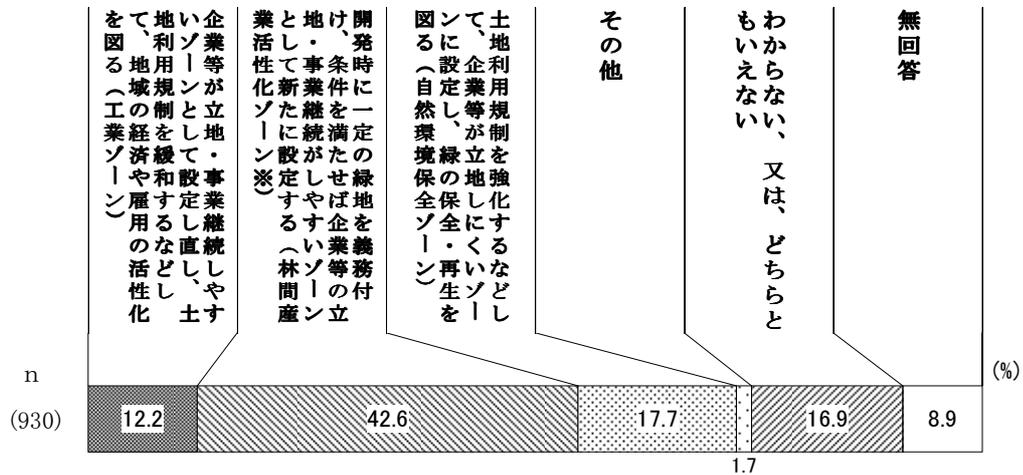


協働プロジェクト	(住民参画、民間活力導入、情報公開など)
ぬくもりプロジェクト	(地域の健康福祉、子育て支援、住民窓口など)
みどりプロジェクト	(公園整備、緑の保全活動、環境美化、リサイクル)
いきいきプロジェクト	(産業活性化、都市基盤整備、観光、教育文化など)
あんしんプロジェクト	(防犯、防災、交通、バリアフリーなど)

第4次総合振興計画の重点施策がどの程度進んでいると感じるかを《進んでいる》(「進んでいる」+「少し進んでいる」)で整理すると、“みどりプロジェクト”(32.0%)と“ぬくもりプロジェクト”(31.7%)で3割台、“あんしんプロジェクト”(28.1%)も3割近くとなっています。ただし、“みどりプロジェクト”と“あんしんプロジェクト”は《進んでいない》が《進んでいる》とほぼ並んでおり、評価が2分しています。また、“協働プロジェクト”も両者とも2割で並び、「どちらともいえない・わからない」が5割に達しています。一方、“いきいきプロジェクト”は《進んでいない》が3割近くとなっています。

□Aエリア周辺の今後の土地利用のありかたとして、あなたの考えに最も近いものひとつに○をつけてください。

→◇「林間産業活性化ゾーン」が42.6%

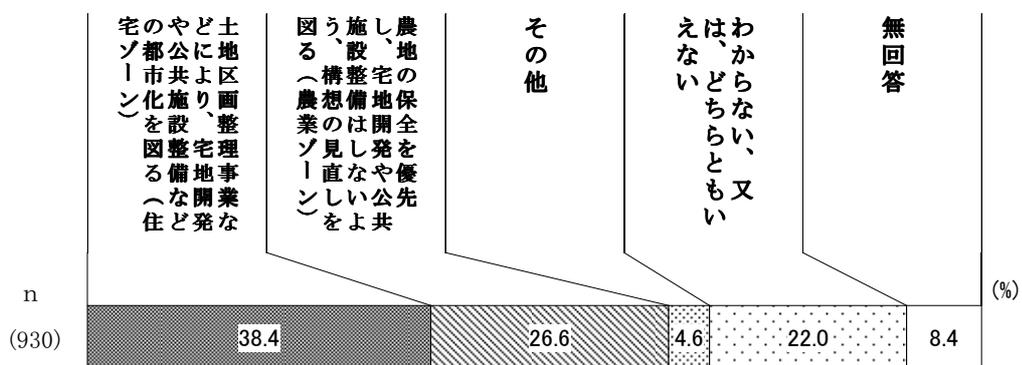


※林間産業活性化ゾーン：一定の緑地確保を義務付けながら計画的に産業誘致を行うゾーン

Aエリア周辺の考えは、「開発時に一定の緑地を義務付け、条件を満たせば企業等の立地・事業継続がしやすいゾーンとして新たに設定する（林間産業活性化ゾーン※）」が42.6%と最も多くなっています。現状の利用方法である「土地利用規制を強化するなどして、企業等が立地しにくいゾーンに設定し、緑の保全・再生を図る（自然環境保全ゾーン）」は17.7%でした。

□Bと□Dのエリア周辺の今後の土地利用のありかたとして、あなたの考えに最も近いものひとつに○をつけてください。

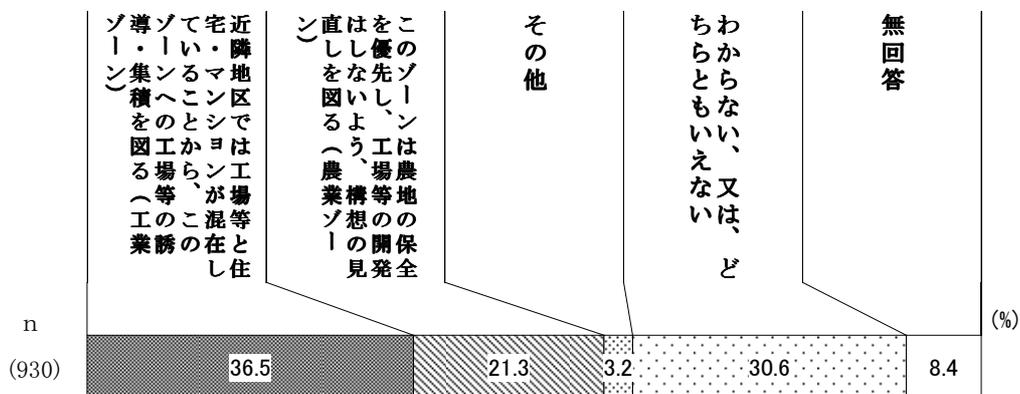
→◇「農業ゾーン」が26.6%



BとDエリア周辺の考えは、「土地区画整理事業などにより、宅地開発や公共施設整備などの都市化を図る（住宅ゾーン）」が38.4%、「農地の保全を優先し、宅地開発や公共施設整備はしないよう、構想の見直しを図る（農業ゾーン）」が26.6%となっています。

□ エリア周辺の今後の土地利用のありかたとして、あなたの考えに最も近いものひとつに○をつけてください。

→◇ 「工業ゾーン」が36.5%



Ｃエリア周辺の考えは、「近隣地区では工場等と住宅・マンションが混在していることから、このゾーンへの工場等の誘導・集積を図る（工業ゾーン）」が36.5%、「このゾーンは農地の保全を優先し、工場等の開発はしないよう、構想の見直しを図る（農業ゾーン）」が21.3%となっています。

三芳町住民意識調査

概要版

平成22年6月

委託者：三芳町役場 総合政策課

〒354-8555 埼玉県入間郡三芳町大字藤久保 1100 番地 1

電話：049-258-0019（代）

受託者：(株)サーベイリサーチセンター

〒116-8581 東京都荒川区西日暮里 2-40-10

電話：03-3802-6724